



KIMURATAN

株式会社 キムラタン

# 第60回定時株主総会

---

2023年6月27日

# 2023年3月期 事業の経過及び成果

# 2023年3月期の主要施策

## 事業ポートフォリオの転換による事業構造改革に取り組む

### ポートフォリオ の転換

- アパレル事業の大幅縮小による赤字の解消
- 不動産事業の拡大による安定的な収益基盤の確保

### アパレル事業

- 全国約220店舗の大半を2023年2月までに閉鎖
- 本社人員体制のスリム化（約65%）の実施

### 不動産事業

- 不動産M&Aにより約60の収益物件を取得
- 不動産部門の設置により管理・運営体制を強化

## 連結経営成績 売上高

不動産事業は大幅増、アパレル事業は35.3%減となり全社では16.3%減

	2022年3月期		2023年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	4,237	100.0%	3,547	100.0%	△689	△16.3%
売上総利益	1,796	42.4%	1,113	31.4%	△683	△38.0%
販管費	2,361	55.7%	1,838	51.8%	△523	△22.2%
営業利益	△564	△13.3%	△724	△20.4%	△159	-

## 連結経営成績 売上総利益

アパレル持ち越し在庫の完全消化を図り11.0ポイント悪化

	2022年3月期		2023年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	4,237	100.0%	3,547	100.0%	△689	△16.3%
売上総利益	1,796	42.4%	1,113	31.4%	△683	△38.0%
販管費	2,361	55.7%	1,838	51.8%	△523	△22.2%
営業利益	△564	△13.3%	△724	△20.4%	△159	-

## 連結経営成績 販売費・一般管理費

不動産経費・一時費用の増加はあるが全体では5億23百万円減少

	2022年3月期		2023年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	4,237	100.0%	3,547	100.0%	△689	△16.3%
売上総利益	1,796	42.4%	1,113	31.4%	△683	△38.0%
販管費	2,361	55.7%	1,838	51.8%	△523	△22.2%
営業利益	△564	△13.3%	△724	△20.4%	△159	-

## 連結経営成績 営業損益

粗利益率の大幅低下、一時費用179百万円により営業赤字159百万円拡大

	2022年3月期		2023年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	4,237	100.0%	3,547	100.0%	△689	△16.3%
売上総利益	1,796	42.4%	1,113	31.4%	△683	△38.0%
販管費	2,361	55.7%	1,838	51.8%	△523	△22.2%
営業利益	△564	△13.3%	△724	△20.4%	△159	-

## 連結経営成績 営業外損益・特別損益

シンジケートローン手数料、子会社株式売却等が一時的に発生

	2022年3月期	2023年3月期	増減額	増減要因等
営業利益	△564	△724	△159	
営業外収益	28	37	+9	助成金収入減・受取保険金増
営業外費用	73	350	+277	支払利息、借入手数料増加
経常利益	△609	△1,037	△427	
特別利益	6	—	△6	
特別損失	286	103	△183	中西株式売却損、貸倒引当金
法人税等	3	△5	△9	—
当期純利益	△892	△1,134	△241	



## セグメント別の概況

値引販売によりアパレル赤字拡大・不動産は安定的に利益確保

		2022年3月期	2023年3月期	増減額	増減率
アパレル事業	売上高 セグメント利益	4,068 △516	2,634 △638	△1,434 △122	△35.3% —
不動産事業	売上高 セグメント利益	65 39	799 190	+734 +151	約12倍 約5倍
その他事業	売上高 セグメント利益	103 △86	114 △55	+10 +30	+9.9% —

# 2023年3月期の総括

減収・赤字拡大も事業ポートフォリオ転換による構造改革は完了

黒字化と将来成長・安定的財務基盤

事業ポートフォリオの転換は完了

## アパレル

事業規模を大幅に縮小  
今後の赤字要因を排除

## 不動産

M&Aによる事業拡大  
全社構造改革に貢献

## 連結財政状態

### 不動産M&Aにより収益不動産・のれん・借入金が大幅に増加

	2022年3月期	2023年3月期	前期比	増減要因等
総資産	2,587	7,629	+5,042	
流動資産	2,462	409	△2,052	
売上債権	523	54	△468	アパレル縮小に伴う
商品・製品	1,217	213	△1,003	閉店セールにより徹底消化
固定資産	125	7,219	+7,094	
有形固定資産	12	6,692	+6,679	M&Aにより収益不動産が増加
無形固定資産	9	489	+479	のれんが増加
負債	2,467	7,461	+4,993	
借入金	1,494	6,693	+5,198	M&Aにより借入金が増加
純資産	119	168	+48	
自己資本比率	3.8%	2.0%	—	

## 事業報告、連結計算書類等

### 事業報告

設備投資の状況～会計監査人の状況

7～14ページ

### 連結計算書類

15～18ページ

### 計算書類

19～22ページ

# 2024年3月期 事業計画の概要

# 2024年3月期黒字化に向けて

**2023年3月期  
赤字拡大要因**

**粗利益率の大幅低下  
一次費用の計上**

**赤字事業  
の撤退**

**中西の株式譲渡  
保育園事業譲渡**

**今後の赤字要因を徹底排除した**

**2024年3月期の黒字転換**

**不動産事業は安定的に利益確保**

## アパレル事業の方針

事業規模は追及せず、ブランド力向上により事業黒字化を目指す

売上高

事業規模拡大ではなくブランド力の向上を重視

---

粗利益

在庫整理は完了。粗利益率の改善を見込む

---

固定費

引き続き固定費の削減を図る

# 不動産事業の戦略

収益力のさらなる向上と成長に向けた投資の検討を積極推進

## 稼働率向上

- 異なる顧客ニーズの把握と適切な投資
- 立地条件を踏まえた提案力・営業力強化

## コスト低減

- 顧客ニーズのきめ細かい把握と迅速な顧客対応
- 物件状況の的確な把握

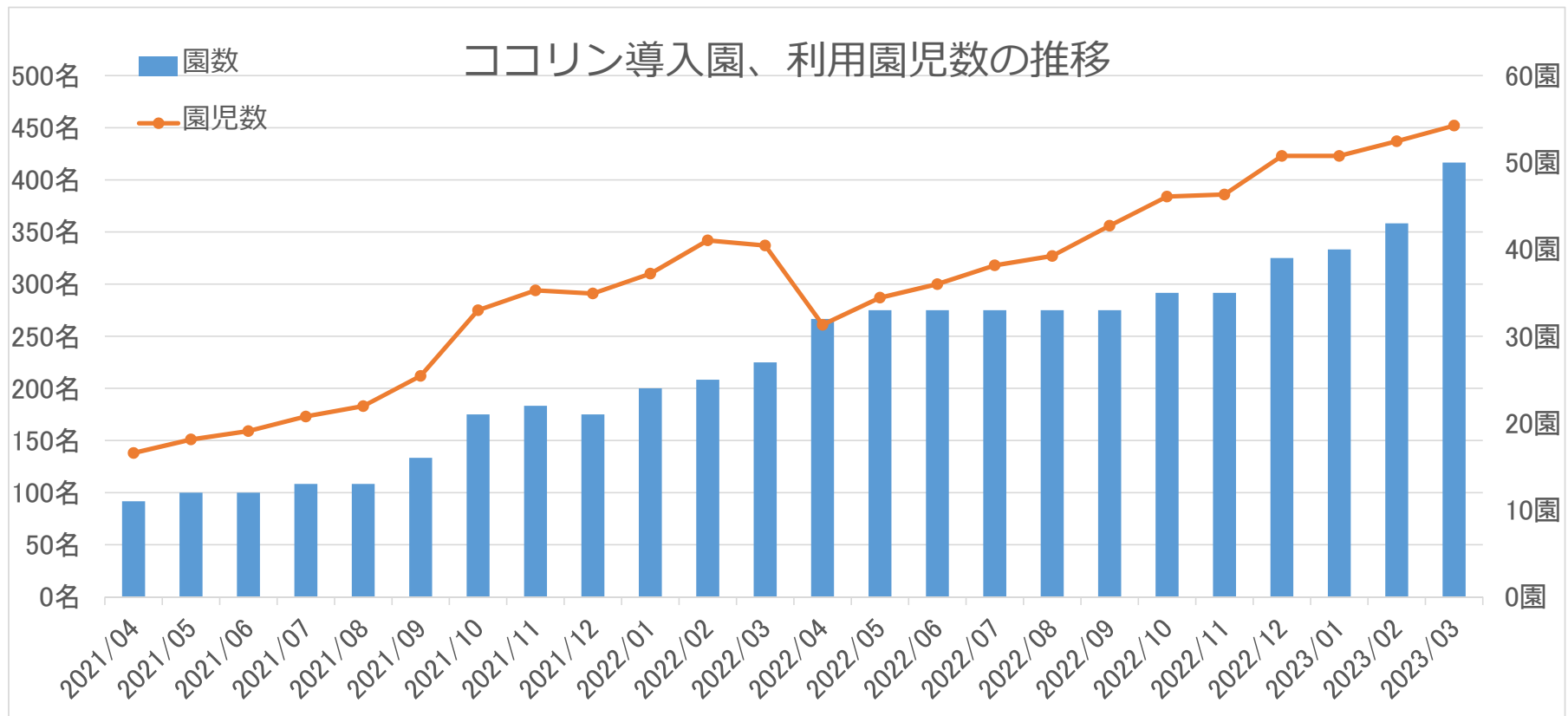
## 成長戦略

- M&A含む不動産投資を積極的に探索・検討



# ウェアラブル事業

保育現場での事故防止に向け、安心・安全に貢献する事業として育成



# 2024年3月期通期業績予想

単年度黒字化目指す

	2023年3月期		2024年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	3,547	100.0%	1,300	100.0%	△2,247	△63.4%
営業利益	△724	△20.4%	90	6.9%	+814	-
経常利益	△1,037	△29.2%	30	2.3%	+1,067	-
当期純利益	△1,134	△32.0%	20	1.5%	+1,160	-



**KIMURATAN**